

鳥類標識調査実施報告

◆実施日 2022年9月5日(月) 晴れ、風強い
4:30開網～16:00閉網

◆放鳥種

種名	新放鳥数	再放鳥数	計
コサメビタキ	1	0	1
キビタキ	1	0	1
シジュウカラ	1	0	1
カワセミ	1	0	1
コゲラ	1	0	1
	5	0	5

◆姿・声で確認した鳥

メジロ、ホオジロ、ヒヨドリ、ウグイス、トビ、ミサゴ、キジバト、エナガ
コゲラ、カイツブリ、ハクセキレイ、コサメビタキ、モズ、イソヒヨドリ、スズメ
アオサギ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、カワウ

◆渡り鳥の状況

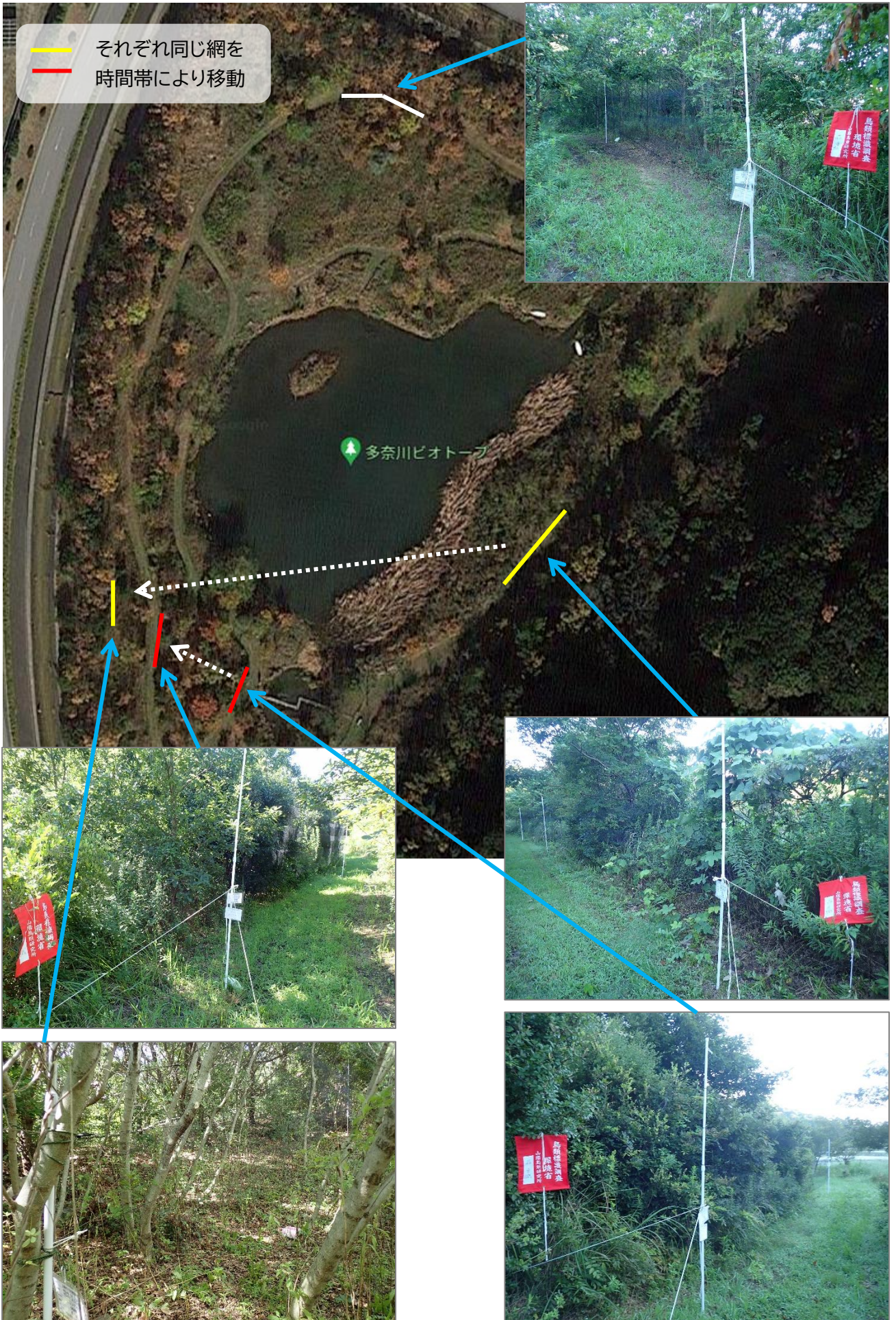
・夏鳥(旅鳥) キビタキ、コサメビタキ

◆繁殖鳥の状況

- ・カワセミ 幼鳥を確認。
- ・シジュウカラ 幼鳥を確認。
- ・コゲラ 幼鳥を確認。
- ・観察によるさえずり確認 メジロ、キジバト

猟具設置場所

— それぞれ同じ網を
— 時間帯により移動



標識鳥

コサメビタキ 性不明幼鳥



キビタキ 性不明幼鳥



カワセミ 性不明幼鳥



シジュウカラ 性不明幼鳥



◆秋の渡り鳥が通過しています

コサメビタキ 性不明幼鳥 5:30入網

キビタキ 性不明幼鳥 9:30入網

午前中に捕獲された2種は、日本の樹林地で生まれ、越冬地への渡り途中と思われます。

どちらの種も、体重わずか10g~程度の小さな鳥ですが、これから海を越え、東南アジア方面への長い距離を飛んでいきます。

◆水辺の鳥カワセミが捕獲されました

北側のコナラの林へ設置した網に入網しました。貯水池の方面からビオトープ池に向かって飛んできたようです。

お腹の羽根など一部の色がくすんでおり、ビオトープの周辺で今年生まれた若い個体と思われます。

◆今年生まれの幼鳥が捕獲されました

前回7月に引き続き、ビオトープの周辺で繁殖している留鳥(渡りをせず、年間を通して同じ地域に生息する種)を標識しました。

この時期になると、さえずりはほとんど聞こえず、多くの種類で繁殖期は終了し、巣立ち後の分散を始めています。

羽根の生え換わり具合などから、シジュウカラは巣立ってそれほど時間が経っておらず、対してコゲラはある程度時間が経っていることが伺えました。今回標識した鳥はすべて今年生まれの幼鳥でした。

コゲラ オス幼鳥

